

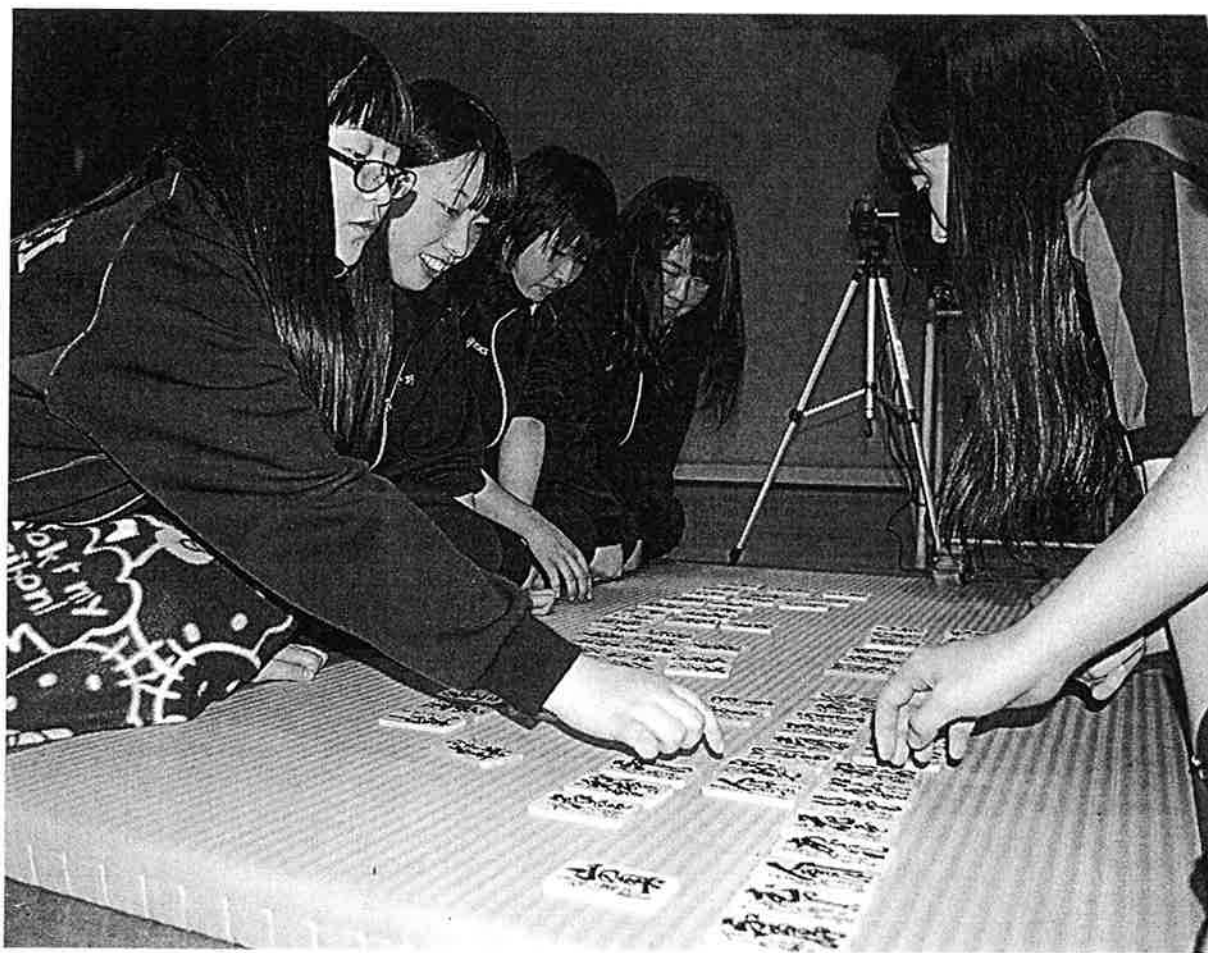
学校一へ 「ハイッ」

室蘭・海星学院高校(香川謙二校長、210人)で24日、百人一首かるた大会が開かれた。1、2年生153人が日ごろの練習の成果を発揮し、優勝を目指していた。

各クラスから4チームが出場。24チームを4ブロックに分け、予選リーグを実施。予選を勝ち抜いた8チームはベネディクトホールの特設会場で決勝トーナメントを行った。

全校生徒が見守る決勝戦

海星学院 百人一首大会



熱戦を繰り広げた百人一首かるた大会

では、2年生同士との戦いに生徒たちは向かい合わせに座って試合開始。読み手の教諭が上の句を読むと、生徒たちは下の句が書かれた木札を見つけ「ハイッ」。勢い余ってお手つきをしたり、目の前にある札を相手に取られたりと熱戦を繰り広げ、最後の一枚まで優勝を争っていた。

見事学校一に輝いた松本美優生徒会長率いる「チーム生徒会長」のメンバー。寺本俊介君(2年)は「決勝戦はとも手応えがありました。上の句と下の句を覚えるのは大変だったが、携帯のアプリなどで練習し、チームのみんなで協力したので結果が残せてよかったです」と話していた。

同大会は古典の理解力とクラスの団結力を高めようと国語科の授業として実施。同高の前身であるカトリック室蘭女子高校時代から毎年開催している。

(石川綾子)